

# 令和4年度 DX推進計画 実施状況確認総括表

【基本方針Ⅰ】 ICT利活用による市民サービスの向上		R3	R4	R5	R6	R7
(1)電子申請の促進	DX推進グループ	実施中				
(2)公共施設の予約システムの導入	DX推進グループ	一部実施				
(3)キャッシュレス決済の導入	DX推進グループ	実施中				
(4)マイナンバーカードの普及・促進	総務グループ、市民サービスグループ	実施中				
(5)市公式ウェブサイト、SNSによる情報発信の見直し	秘書広報グループ	実施中				
(6)総合窓口の設置の検討	DX推進グループ	一部実施				
(7)ICT-BCPの策定	DX推進グループ	検討(遅延)				
【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進		R3	R4	R5	R6	R7
(1)図書館サービスの充実	図書館	実施中				
(2)ICTを活用した教育の推進	学校教育グループ	実施中				
(3)校務支援システムの導入	学校教育グループ	実施中				
(4)ワーケーションの推進	観光振興グループ	実施中				
(5)SNS等を活用したまちの魅力発信	商工労政グループ、観光振興グループ	実施中				
(6)デジタルデバイド対策	DX推進グループ	実施中				
(7)オープンデータの利用促進	DX推進グループ	実施中				
【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速		R3	R4	R5	R6	R7
(1)庁内事務の電子決裁化	総務グループ、会計グループ	実施中				
(2)ペーパーレス化の推進	総務グループ、DX推進グループ	実施中				
(3)契約事務の効率化・電子入札制度の導入の検討	契約・管財グループ	検討				
(4)ICTを有効活用したBPRの推進	DX推進グループ	実施中				
(5)リモート会議環境の整備・活用	DX推進グループ	実施中				
(6)庁内ネットワークの無線化	DX推進グループ	実施中				
(7)職員のテレワーク環境の整備及びモバイルワークの検討	人事グループ、DX推進グループ	実施中				
(8)チャットツールの整備	DX推進グループ	実施中				
(9)自治体情報システムの標準化・共通化	DX推進グループ	検討				
(10)EBPM導入の検討	DX推進グループ	検討				
(11)セキュリティの確保	DX推進グループ	実施中				
(12)クラウド利用の促進	DX推進グループ	実施中				
(13)デジタル人材の確保	DX推進グループ	実施中				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】

ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(1) 電子申請の促進						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	行政手続きやイベント等の申請・受付について、電子申請による申請・受付を推進するため、「ぴったりサービス」をはじめ、電子申請の手続環境を整備します。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	ぴったりサービスを運用するにあたり、必要となる設定や申請者側の回答フォーム等を調査した。 また、「登別市公共施設持続化・感染リスク対策支援金」にてぴったりサービスを利用して各指定管理者より申請を受けた。						
実施状況【R4】	自治体専用デジタル化総合プラットフォーム「LoGoフォーム」を導入し、各イベント等の申請の電子化を図った。 また、国より提示された各標準様式を用いて行政手続の電子化を進めるにあたり、各担当課と調整し、子育て・介護等に係る各手続の申請フォームを整備した。						
今後の取組【R5～】	市民からの問い合わせや手続をできるだけ電子化するように呼びかけ、電子申請の件数の拡充を図る。 また、各電子申請や相談フォームの入口をまとめた電子申請フォームを開設する。						
成果指標	指標名	ぴったりサービス対象業務数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	15	35	35	35	35	
	実績	1	43				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】  
ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(2) 公共施設の予約システムの導入						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	公共施設の利用予約について、従来の予約方法に加え、パソコンやスマートフォン等の電子媒体を活用し、オンラインにより施設予約が可能な仕組みを導入します。						
実施年度	令和4年度～	実施区分		一部実施			
実施状況【R3】	公共施設の予約に係るサービスの調査・検討を実施し、各施設所管グループにおいて、デモ環境を用いた操作性の確認・検証を行った。						
実施状況【R4】	公共施設予約管理システムの対象となる施設の検討や各施設の予約可能な部屋等の検討、本予約管理システムでの設定や登録など、運用開始に向けた取組を進めた。						
今後の取組【R5～】	公共施設予約管理システムを検討していた各施設の指定管理者や施設管理者等と連携し、オンラインでの予約管理の操作やテスト運用を踏まえ、公共施設予約サイトの開設及び運用に向けた取組を進める。						
成果指標	指標名	施設予約管理システム利用率			行革連動	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	20	25	30	35	
	実績	-	0				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】 ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(3) キャッシュレス決済の導入						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	現金のみで収受している証明書等手数料について、多様な支払い方法を確立し、現金の接触機会を低減させることで、市民の利便性向上及び新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図ります。						
実施年度	令和4年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	キャッシュレス決済の導入にあたり、他市の事例や導入に向けたシステムの調査等を実施した。						
実施状況【R4】	令和4年度中に事業者の選定を行い、市民サービスG、税務グループ及び各支所にてキャッシュレス端末を導入した。						
今後の取組【R5～】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用環境を整備し、令和5年度中に市民サービスG、税務グループ及び各支所にてサービスを開始する。</li> <li>・市広報紙や市公式ウェブサイト等を活用し、市民への周知を行い、対応する決済サービスを拡充することで、キャッシュレス決済の利用を促進する。</li> </ul>						
成果指標	指標名	市民窓口におけるキャッシュレス決済利用率			行革連動	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	1.5	4.0	6.0	8.0	
	実績	-	0.0				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】

ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(4) マイナンバーカードの普及・促進							
担当部署	総務グループ、市民サービスグループ							
取組内容	マイナンバーカードの普及促進を図るとともに、国の施策によりマイナンバーカードが導入される各種制度について情報収集するとともに、利用者に対し周知啓発を図ります。また、オンライン申請の拡充を図ります。							
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中				
実施状況【R3】	随時、市広報紙や市公式ウェブサイト等を通じて、マイナンバーカードやマイナポイントについての周知を行うとともに、市役所本庁及び各支所での申請サポート、市主催の行事とのタイアップによる出張申請受付を行い、マイナンバーカードの普及・促進を図った。							
実施状況【R4】	マイナポイントの付与対象となるマイナンバーカードの申請期限を念頭に、市広報紙や市公式ウェブサイト等による周知、市役所本庁及び各支所での申請サポートのほか、市内各所で出張申請受付を行い、マイナンバーカードの普及・促進を図った。							
今後の取組【R5～】	令和6年秋に予定されている紙の健康保険証が原則廃止を念頭に、健康保険証と一体化されるマイナンバーカードのより一層の普及に向け、新たに導入された暗証番号の設定不要な顔認証のマイナンバーカードの周知や、市役所本庁舎及び各支所での申請サポート、市役所へ来庁困難な方を対象に要望に応じて一人でも出張申請受付を行い、マイナンバーカードの普及・促進を図る。							
成果指標	指標名	市民のマイナンバーカードの交付率			行革連動	○	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	29.0	32.0	35.0	38.0	41.0		
	実績	40.6	70.7					

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】 ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(5) 市公式ウェブサイト、SNSによる情報発信の見直し							
担当部署	秘書広報グループ							
取組内容	ICTを活用した市民への各種情報発信の手段として、市公式ウェブサイト、市Facebookに加え、LINEなどのSNSを有効活用し、積極的な市政情報を発信します。							
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中				
実施状況【R3】	子育て支援センターにLINEの友だち登録勧奨ポスターを設置するなどして、登録者数の増加を図る。							
実施状況【R4】	LINEにセグメント配信機能やチャットボット機能などを搭載し、個々のニーズに合った情報の発信などをすることにより、登録者数の増加・ブロック数の減少を図った。 また、今後も各SNSの登録者数の増加を図りながら、市広報紙とSNSの情報発信の差別化について検討した。							
今後の取組【R5～】	LINEセグメント配信等の取組が登録者の大幅な増加に結びついたことから、今後も広報紙への二次元コード掲載、一部公共施設へのポスター掲示など登録を促す取り組みを継続して行っていく。 また情報発信の拡大および更なるSNS登録者増加のため、若者に広く使われている写真・動画共有SNSである『Instagram』の運用について検討を進める。Instagramの運用は登別温泉や地獄谷の景観を始めとした観光資源やウニなどの特産品を掲載するなど、本市の魅力を更に発信できるものと考えている。							
成果指標	指標名	SNSの登録者数等			行革連動	○	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000		
	実績	4,764	6,038					

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】

ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(6) 総合窓口の設置の検討							
担当部署	DX推進グループ							
取組内容	戸籍や税、健康保険や福祉などに関する各種手続をワンストップで受ける総合窓口の設置、各種申請手続きのワンストップ化について調査・研究を行い、新庁舎の建設に向けてICTを活用した窓口のあり方について検討を進めます。また、本取組の庁内の推進体制についても、併せて検討します。							
実施年度	令和7年度～	実施区分		一部実施				
実施状況【R3】	総合窓口設置に向けた検討を、より具体的に進めるため、総合窓口を運営する上で職員を補助する仕組みにもなる「書かない窓口」の導入を目指すこととし、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の申請を行った。							
実施状況【R4】	職員が市民から聞き取りをした情報と住民記録等の情報を活用して、システムにより必要な手続きの申請書を作成することで、市民は印字された申請書の内容の確認と署名のみで申請が完了する「書かない窓口」を市民サービスグループの窓口を導入し、住民票や印鑑登録証明書の証明書発行手続きにおいて申請書の代理作成を行った。							
今後の取組【R5～】	「書かない窓口」の取扱業務を拡大し、「お悔やみワンストップ窓口」や住民異動等の取組を開始する。 また、窓口の改善を行いながら、新庁舎における総合窓口のあり方の検討を深める。							
成果指標	指標名	「書かない窓口」による証明書交付件数			行革連動	○	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	-	-	-	-	-		
	実績	-	35					

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】 ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(7) ICT-BCPの策定						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	業務の実施に必要な情報システムの確保、情報システムやネットワークの復旧手順等に係るICT部門の業務継続計画を整備します。						
実施年度	令和4年度～			実施区分	検討（遅延）		
実施状況【R3】	他自治体のICT-BCPや津波浸水予測の更新を勘案しながら、ICT-BCPの策定案を定期更新し、精度の向上に努めた。						
実施状況【R4】	引き続き、他自治体のICT-BCPや津波浸水予測の更新を勘案しながら、ICT-BCPの策定案を定期更新し、精度の向上に努めた。						
今後の取組【R5～】	国や道の方向性や指針に基づき、令和5年度中にICT-BCPの策定案を作成し、施行に向けた取組を進める。 【遅延の理由】令和4年7月及び12月に公表された日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による津波の被害想定に伴い、代替拠点予定地（市民会館）や被害想定の見直しが必要となったため。						
成果指標	指標名	庁内ネットワークに係る重大障害件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	0	0	0	0	
	実績	-	0				



## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進

実施項目	(1) 図書館サービスの充実						
担当部署	図書館						
取組内容	<p>ネット予約サービスや電子図書の積極的な利用を促すことと併せて電子書籍の充実を図るほか、市が保有している資料のデジタルアーカイブに取り組みます。</p>						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	<p>Web予約サービスは従前より取り組んでおり一定程度定着しているものと考えているが、コロナ禍による臨時休館の影響を受け利用数は減少した。 電子書籍については、コストを勘案しながら順次追加購入を検討しているところである。 また、資料のデジタル化については、昭和40年代～平成9年の市勢要覧のスキニングまでを完了している。</p>						
実施状況【R4】	<p>コロナ禍で落ち込んでいた図書館利用が徐々に回復傾向にあり、web予約の利用も前年度比で増加した。 電子書籍の年次的な追加購入も実施したところであるが、外出（来館）のハードルが下がるにつれて電子図書館の利用が減少している状況である。 また、デジタルアーカイブについては登別市統計書の公開準備を進めているところである。</p>						
今後の取組【R5～】	<p>引き続きweb予約サービスの周知と電子書籍の充実に努め、これらの利用促進に繋げていく。 また、デジタルアーカイブについては、統計書に続いて市勢要覧等の行政資料に着手する予定である。</p>						
成果指標	指標名	web予約数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	7,600	7,700	7,800	7,900	8,000	
	実績	7,118	8,431				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進

実施項目	(2) ICTを活用した教育の推進							
担当部署	学校教育グループ							
取組内容	児童生徒に対し、1人1台の端末を貸与するとともに、高速大容量通信ネットワークの整備を進め、オンラインによる授業やデジタル教科書、デジタル教材や独自教材（動画等）の活用など、ICTを活用した教育の推進を図ります。							
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中			
実施状況【R3】	情報通信機器の授業・校務における積極的な活用や、指導者用デジタル教科書の導入により、児童生徒の学びの充実や教職員の負担を軽減するなど、情報教育の推進及び校務の効率化を図った。							
実施状況【R4】	情報通信機器の授業・校務における積極的な活用や、指導者用デジタル教科書を導入し、ICTを活用した教育の推進を図った。							
今後の取組【R5～】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、情報通信機器の授業・校務における積極的な活用や、指導者用デジタル教科書を導入し、ICTを活用した教育の推進を図る。</li> <li>・算数の学習支援として新たにオンライン演習教材を導入し、学習内容の確実な定着と底上げを図る。</li> </ul>							
成果指標	指標名	デジタルコンテンツ（デジタル教科書及び独自の教材）活用数			行革連動	○	単位	数
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	10	10	12	12	14		
	実績	8	3					

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】  
地域情報化のさらなる推進

実施項目	(3) 校務支援システムの導入						
担当部署	学校教育グループ						
取組内容	教職員が校務で作成する書類や資料を統合管理・運用することができる校務支援システムを導入することにより、教職員の業務を軽減し、子どもと向き合う時間を増やし、きめ細かな指導につなげます。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	教職員が行う校務の効率化を図るため、校務支援システムの契約など導入準備を進めた。						
実施状況【R4】	校務支援システムを本格的に導入し、教職員の負担軽減を行った。						
今後の取組【R5～】	事業の継続を図り、教職員の事務の負担軽減に努めていく。						
成果指標	指標名	市立小・中学校における校務支援システム導入割合			行革連動	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	100	100	100	100	
	実績	-	100				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】

地域情報化のさらなる推進

実施項目	(4) ワークーションの推進						
担当部署	観光振興グループ						
取組内容	テレワーク環境の整備を行うとともに市内の施設を活用してワークーション等を推進します。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	日本工学院北海道専門学校や登別温泉地区の栗林ビル（移住体験用の宿泊施設）、カルルス温泉地区のオロフレ荘・鈴木旅館・山静館、登別駅前のゲストハウス赤と青において、Wi-Fi環境や机・テーブルなどの環境整備を行った。また、令和3年度においては、モニターツアーを実施し、企業から個人まで23件38名の方に参加いただき、ツアー内容や執務環境などについて意見をいただいた。						
実施状況【R4】	令和3年度に策定した「登別市ワークーション推進ビジョン」に基づき、登別オリジナルの企業研修型ワークーションスタイルを構築することを目的とし、研修プログラムの企画・運営や受入環境整備を進めた。また、本事業と日本工学院北海道専門学校サテライトオフィス「en」への企業誘致の取組を連動させ、関係人口や定住人口の増加、市内経済の活性化を進めた。						
今後の取組【R5～】	観光分野でもDXの必要性が高まっており、事業の委託先である地域リノベーション協同組合と日本工学院北海道専門学校が連携し、学生や本市の若年層に対し、地域DX人材の育成と地域での起業を促すための「DXリーダー育成講座」を実施することになっている。DXリーダー講座は企業研修型ワークーションを連動させ、地域課題の解決やケーススタディを通じて、聴講生がDXのプロセスやノウハウを学ぶことができる内容とし、将来的に彼らが観光業をはじめ市内で活躍する地域DX人材として育成されることを期待している。こうした動きについても引き続き支援できるように検討していく。						
成果指標	指標名	ツアーの参加件数 ※モニターツアー含む			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	15	10	10	10	10	
	実績	23	30				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進

実施項目	(5) SNS等を活用したまちの魅力発信						
担当部署	商工労政グループ、観光振興グループ						
取組内容	観光客のニーズに応じて、飲食店やホテル・旅館、体験メニュー、景勝地など、あらゆる情報を発信するため、登別駅前に整備を進めている（仮称）登別市情報発信拠点施設「ヌプル」のほか、登別ブランド推進協議会や登別国際観光コンベンション協会など、民間団体等の活力を活用しながら、SNS等を通じて登別の魅力ある情報を発信します。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	SNSを通じ、登別ブランド推奨品や、登別市のイベント情報、観光スポットなど様々な魅力発信に努めた。特に、コロナ禍において登別への訪問が難しい方に対し、登別の魅力を伝える有効的な手段となったと考える。						
実施状況【R4】	引き続き、InstagramおよびFacebookの連携やその他SNSによる情報発信を実施した。 他の発信媒体の導入や利活用も検討する一方で、既存の発信媒体におけるフォロワー数や発信頻度の増加、発信内容の拡充を図った。						
今後の取組【R5～】	引き続き、InstagramおよびFacebookの連携やその他SNSによる情報発信を実施する。 他の発信媒体の導入や利活用も検討する一方で、既存の発信媒体におけるフォロワー数や発信頻度の増加、発信内容の拡充を図る。						
成果指標	指標名	SNS発信媒体数			行革連動	単位	媒体
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	5	6	6	6	6	
	実績	9	11				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進

実施項目	(6) デジタルデバイド対策						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	デジタルデバイド解消に資する取組として、デジタルの活用に不安がある住民に対し、デジタル化から取り残されないようにスマートフォン等の使い方を教える講習会を開催することで、市民の利便性の向上を図ります。						
実施年度	令和4年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	令和4年度からの実施に向け、講習会取扱事業者の調査を行い、講習会開催に向けカリキュラム等について検討した。						
実施状況【R4】	講習会取扱事業者と連携し、デジタル化でだれひとり取り残されることのないよう、スマートフォンの基本的な操作を学ぶ講習会を開催した。開催にあたっては、市広報紙や市ウェブサイトにて周知を行った。						
今後の取組【R5～】	昨年度の受講者からのアンケート結果を参考に、開催内容の一部見直しの検討を行うとともに、引き続き、市広報紙や市公式ウェブサイト、リーフレット等にて周知し、スマホ教室を開催する。						
成果指標	指標名	スマホ教室開催回数			行革連動	単位	回
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	8	8	8	8	
	実績	-	9				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進

実施項目	(7) オープンデータの利用促進						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	市で有しているデータをインターネット上に公開することで、編集、加工、分析等の各段階を通じて、地域の課題解決や様々な新ビジネスの創出、企業活動の効率化等に繋がるよう利用を促進するほか、公開するオープンデータ数の拡大を検討していきます。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	オープンデータ公開サイトに提示しているデータの更新を行った。 また、令和3年度をもって既存のオープンデータポータルサイトの利用ができなくなることから、次期のオープンデータプラットフォームへの移行に向け、動作検証等を行った。						
実施状況【R4】	オープンデータ公開サイトに掲示しているデータの更新を行った。 また、オープンデータプラットフォームへのデータの移行を行うことで、継続してオープンデータを利用できるよう努めた。						
今後の取組【R5～】	引き続き、オープンデータ公開サイトに掲示しているデータの更新を行い、自治体標準データセットの拡充と各担当との調整・更新を進める。						
成果指標	指標名	公開オープンデータ数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	14	14	14	14	14	
	実績	14	14				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速

実施項目	(1) 庁内事務の電子決裁化							
担当部署	総務グループ、会計グループ							
取組内容	文書管理・庶務事務システムの導入及び財務会計システムの電子決裁への対応により、庁内事務の電子決裁化を進め、ペーパーレス化と事務効率の向上を図ります。							
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中				
実施状況【R3】	令和3年10月より、文書管理・庶務事務システムを導入するとともに、財務会計システムを電子決裁へ対応可能とした。							
実施状況【R4】	さらなるペーパーレス化及び事務の効率化を目指し、引き続き庁内事務の電子決裁率向上に取り組んだ。							
今後の取組【R5～】	さらなるペーパーレス化及び事務の効率化を目指し、引き続き庁内事務の電子決裁率向上に取り組む。							
成果指標	指標名	庁内事務の電子決裁率			行革連動	○	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	実績	文書管理・・・96.2 財務会計・・・83.0	文書管理・・・98.7 財務会計・・・91.8					



## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(2) ペーパーレス化の推進							
担当部署	総務グループ、DX推進グループ							
取組内容	職員用パソコンを順次ノートパソコンに移行することによる内部の会議資料のペーパーレス化や、庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用、電子決裁システムの導入などにより、今後発生する庁内の紙文書を削減するとともに、既存の紙文書の電子化を進めることで 市全体のペーパーレス化をさらに推進します。							
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中				
実施状況【R3】	内部の会議資料のペーパーレス化や、庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用、電子決裁システムの導入（令和3年10月～）などにより、既存の紙文書の電子化を推進した。							
実施状況【R4】	庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用促進、電子決裁システムにおける電子決裁率の向上などに取り組み、市全体のペーパーレス化を進めた。							
今後の取組【R5～】	引き続き、庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用促進、電子決裁システムにおける電子決裁率の向上などに取り組み、市全体のペーパーレス化を推進する。							
成果指標	指標名	コピー用紙購入枚数の削減枚数			行革連動	○	単位	万枚
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	94	94	94	94	94		
	実績	88	99					

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(3) 契約事務の効率化・電子入札制度の導入の検討							
担当部署	契約・管財グループ							
取組内容	契約事務の効率化を図るため、契約事務の電子化の検討を行います。また、入札参加資格申請のオンライン化や電子入札システムの導入についても検討します。							
実施年度	令和7年度～	実施区分		検討				
実施状況【R3】	契約事務の電子化や入札参加資格申請のオンライン化、電子入札システムについて導入事例等を調査した。							
実施状況【R4】	引き続き、契約事務の電子化や入札参加資格申請のオンライン化、電子入札システムについて導入事例等を調査した。							
今後の取組【R5～】	引き続き、契約事務の電子化や入札参加資格申請のオンライン化、電子入札システムについて導入事例等を調査する。							
成果指標	指標名	-			行革連動	○	単位	-
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	-	-	-	-	-		
	実績	-	-					

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(4) ICTを有効活用したBPRの推進						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	職員の事務負担軽減や業務の効率化が図れるよう、手続等にかかる処理の流れなどについて、BPRの視点を持ちながら見直しを行うほか、RPA、AI-OCRの導入の検討を進めます。						
実施年度	令和4年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	若年層の職員を対象に、ICT事業者の協力を受けながらDX研修を実施した。 RPAやAIなど先端技術を学びながら日々の業務改善に向けた意欲向上につながったと考える。						
実施状況【R4】	市民窓口等において窓口支援システムを導入し、業務の効率化や市民サービスの向上に向けた取組を進めた。 また、電子申請の利活用を促進など担当グループの課題に応じた提案を行い、事務の効率化や生産性の向上、地域情報化の推進に向けた取組を進めた。						
今後の取組【R5～】	各部署の業務プロセスや課題の把握、また、各業務の課題解決に向けた取組を進めるため、BPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング）を通じ、業務の効率化のツールとして、RPA、AI-OCR等の導入を見据えた検討を進める。 また、電子申請の更なる利活用の促進に向けた取組のひとつとして、ぴったりサービスや市独自の電子申請をまとめたポータルサイトを構築する。						
成果指標	指標名	RPA導入事務数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	4	4	4	4	
	実績	-	1				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(5) リモート会議環境の整備・活用						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	新型コロナウイルス感染症によりリモート会議の利用が増えていることから、庁内の会議室や執務室において外部や職員同士で実施できるよう整備を行い、リモート会議の促進を図ります。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	インターネット環境を利用可能な会議室を拡充し、リモート会議の促進を図った。						
実施状況【R4】	公用スマホでのテザリング機能を利用可能としたWeb会議用のパソコンを用意し、原則庁舎の全ての部屋でWeb会議を行えるよう整備した。 また、インターネット利用が可能な貸出パソコン等の機器について整理を行うとともに、Web会議用の無線LANについて安定した通信が出来るよう検討・調整した。						
今後の取組【R5～】	引き続き、ネットワーク環境及び、パソコン・マイク等の貸出物品を整備を行い、リモート会議の利用を促進する。						
成果指標	指標名	リモート会議実施件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	270	300	330	360	390	
	実績	296	882				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(6) 庁内ネットワークの無線化						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	多様なワークスタイルの創出やペーパーレス会議などの取組を推進するため、庁内ネットワークの無線化を進めます。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	本庁舎、第二庁舎、アーニス、クリンクルセンター、総合福祉センター、給食センター、各支所において、LGWAN回線の無線化を行った。						
実施状況【R4】	令和4年度に新設された登別市観光交流センター内の登別支所において、LGWAN回線の無線化を行った。						
今後の取組【R5～】	現在供用中の消防東支署、令和7年度供用開始予定の消防新庁舎、令和8年度供用開始予定の市役所新庁舎のネットワーク回線の無線化の検討を行う。						
成果指標	指標名	無線LANアクセスポイント接続数 (庁内ネットワーク)			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	47,500	50,000	50,000	50,000	50,000	
	実績	57,525	85,050				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速

実施項目	(7) 職員のテレワーク環境の整備及びモバイルワークの検討						
担当部署	人事グループ、DX推進グループ						
取組内容	セキュリティ面を十分配慮し、自宅から庁内のパソコンに接続ができるようテレワークシステムを導入し、環境を整備します。また、外出勤務時においても、職員に貸与しているスマートフォンを活用し、庁内ネットワークにアクセスすることで、業務が遂行できるモバイルワークの導入に向けて検討を進めます。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	地方公共団体情報システム機構が提供するテレワークシステムを活用し、技術的な実証利用を継続している。 電子決裁の導入や押印の省略、内線電話のスマートフォン化などにより、テレワークによる業務水準が向上している。						
実施状況【R4】	継続してテレワークシステムの技術実証を進めた。 地方公共団体情報システム機構が提供するテレワークシステムも試行であるため、テレワーク環境の継続のために、さまざまな手法を検討した。						
今後の取組【R5～】	地方公共団体情報システム機構が提供するテレワークシステムを活用し、令和6年度からのテレワークの本格稼働に向け、運用面の検討を行う。						
成果指標	指標名	テレワーク利用者数 (延べ人数)			行革連動	単位	人
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	500	600	700	800	1,000	
	実績	958	816				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速

実施項目	(8) チャットツールの整備						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	庁内における意思決定の新たな会議のあり方や情報共有の効率化を実現するため、行政専用のネットワーク回線（L GWAN）とインターネットの両方の環境から利用可能なクラウド型チャットツールを導入します。						
実施年度	令和4年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	行政専用のネットワーク回線（L GWAN）とインターネットの両方の環境から利用可能なクラウド型チャットツールのトライアルを実施し、導入に向けたツールの選定を行った。						
実施状況【R4】	希望するグループを対象にアカウントを配布した。 また、利用状況等を把握することで、導入効果の検証と情報共有の効率化を平行して進めた。						
今後の取組【R5～】	利用状況に応じてアカウントの整理を実施するとともに、希望するグループを対象にアカウントを配布し、導入効果の検証と情報共有の効率化を平行して進める。						
成果指標	指標名	チャットアカウント導入数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	50	100	150	200	
	実績	-	50				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速

実施項目	(9) 自治体情報システムの標準化・共通化						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が制定されたことにより、令和7年度までに、自治体が標準化基準に適合した情報システムに移行することが求められていることから、既存の情報システムの改修を行います。						
実施年度	令和7年度～			実施区分	検討		
実施状況【R3】	標準化について、国において標準仕様書が確定しない段階であり、西いがり広域連合及びシステムベンダとスケジュール感を確認など、できる範囲で情報収集に努めるとともに、国に対し意見の提出を行った。						
実施状況【R4】	国が示す標準仕様書等に基づき、各担当部署と連携し課題等を把握しながら、システムの標準化に向けた取組を進めた。						
今後の取組【R5～】	円滑に標準システムへ移行できるよう、関係事業者と各担当部署との調整を行い、課題の解消を図る。 また、ガバメントクラウドの利用に向けて契約の形態や利用料・通信料等の情報を収集し、イニシャル・ランニングコストの把握に努める。						
成果指標	指標名	標準化・共通化導入業務数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	-	-	-	20	
	実績	-	-				



## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(10) EBPM導入の検討						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	市が保有する多様なデータを活用し、そのデータの分析を行うことで、客観的な証拠に基づいた政策や施策の企画・立案が行われるEBPM (Evidence Based Policy Making) の導入を検討します。						
実施年度	令和5年度～	実施区分		検討			
実施状況【R3】	統計データのあり方について検討するとともに、その活用について、どのような手法が望ましいのか情報収集を行った。						
実施状況【R4】	各種アンケートデータを集約し、他グループにおいても活用が可能となるような手法を検討したほか、EBPMの素地を整えるため、WebGIS (Webブラウザを活用した地理情報システム) の導入に向け、デジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ) の申請を行った。						
今後の取組【R5～】	令和5年度中の運用開始を目指し、所管グループが保有する基礎的な情報を一元で管理するとともに、横串で活用できるプラットフォームの構築に向けた取組を進める。						
成果指標	指標名	-			行革連動	単位	-
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(11) セキュリティの確保						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	市民サービスに必要な各機器及びシステムについて、障害が起こることなく、安定した稼働を行うとともに、国におけるガイドライン等の見直しなどを踏まえ、セキュリティポリシーの見直しを適切に行います。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	既存の仕組みを十分に活用し、情報漏洩など発生しないよう適切に運用した。 また、新規採用職員を対象にセキュリティ研修を実施するなど、人材育成にも努めた。						
実施状況【R4】	既存の仕組みを十分に活用し、情報漏洩など発生しないよう適切に運用した。 また、新規採用職員を対象にセキュリティ研修を実施した。 国の示すガイドライン等を勘案し、セキュリティポリシーの見直しを図った。						
今後の取組【R5～】	引き続き、機器及びシステムの安定稼働や人材育成に努めるほか、現行のセキュリティポリシーが、国の示すガイドラインが令和5年3月に改正されたことや現状の運用や社会情勢に適合しているかなど検証し、運用の確認や見直しを行う。						
成果指標	指標名	庁内ネットワークに係る重大障害件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	0	0	0	0	0	
	実績	0	0				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速

実施項目	(12) クラウド利用の促進						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	<p>国が進めているクラウドバイデフォルトの考えに基づき、市において、今後の庁内システムの構築や整備にあたっては、クラウドサービスの利用を優先的に検討し、情報システムの運用コスト削減をはじめ、情報セキュリティ水準の向上、災害時の業務停止リスクの低減を図ります。</p>						
実施年度	令和4年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	<p>国はクラウドバイデフォルトを掲げ、急速にクラウド利用を進めているが、地方自治体においては三層分離が推奨され、自席のPCからのインターと利用が困難である。                  公用スマホによるクラウド利用やL GWAN-ASPを介したクラウド利用など、できるところからではあるが、セキュリティに十分配慮しながら積極的に活用する。</p>						
実施状況【R4】	<p>クラウドの簡易申請ツールを導入し、ペーパーレス等による運用コストの削減に努め、また、三層分離の見直しの中で、より効率的で効果的なクラウド利用となるよう、ネットワーク構成の見直しに着手した。</p>						
今後の取組【R5～】	<p>ネットワークモデルの見直しの検討や、データ保存領域等においてセキュリティへの配慮をしながらクラウド利用を模索する。</p>						
成果指標	指標名	庁内ネットワークに係る重大障害件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	0	0	0	0	
	実績	-	0				

## DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】  
行政内部の情報化の加速

実施項目	(13) デジタル人材の確保						
担当部署	DX推進グループ						
取組内容	デジタル技術を活用し効率的な業務を行うことができる職員を育成するため、考え方や技術を学習する研修会を開催します。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	民間企業に依頼し、若手職員を対象としたDX研修を実施し、業務改善意識の向上を図り、また、職場内における改善点の洗い出しを行った。						
実施状況【R4】	昨年度に引き続き、業務改善意識の向上や改善点の洗い出しを目指し、若手職員向けの職員研修を実施した。 また、DXのさらなる推進のため、外部の専門人材にデジタルフェローを委嘱し、デジタルフェローの専門的知識、経験等に基づいた支援、助言の提供を受けた。						
今後の取組【R5～】	令和4年度に引き続き、若手職員向けの職員研修を開催するほか、人事グループが主催する管理職向けの研修を開催する。 また、BPRの観点から、主査職以下の職員を対象にDXを推進するためのマインドセット研修やサービスデザイン研修を開催する。						
成果指標	指標名	研修会回数			行革連動	単位	回
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	2	2	2	2	2	
	実績	2	2				